

第25回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会重要事項通知（選手必読）

2014年11月12日
全日本F T大会
実行委員長 盛島一盛

クラブ長、選抜選手およびセコンドの皆様は、かならず一読して下さい。

目 次

- 一、全日本F T大会チケット代金の精算
- 二、選手集合（計量）時間
- 三、選手が持参するもの（重要）
- 四、組手選抜選手の各種防具の色
- 五、就武型（個人戦）選抜選手の鉢巻の色
- 六、集合時の手順
- 七、後楽園ホール入館時
- 八、その他注意

記

一、全日本F T大会チケット代金の精算

我が日本テコンドー協会（J T A）は、国や地方自治体の補助金、寄付やスポンサー等に依存しない完全な自主財源のみで運営されている自立・自律した武道団体です。

日本のテコンドー団体の中では、著名な会場において全日本大会を自主財源のみで持続的に主催できる唯一の団体であると自負しています。全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会（以下、全日本F T大会）の会場賃料も試合参加費や チケット代金等により賄っています。

協力して頂いた皆様には心より御礼申し上げます。

1、チケット代金の精算は、下記のゆうちょ銀行口座に振り込みして下さい。

全日本F T大会当日は、選手は試合に、実行委員は試合運営に集中しなければなりませんので、チケット代金はすべて振り込みでお願いします。

1) 振込み期日

2014年11月25日迄、振込んで下さい。

2) 委託された全日本F T大会チケットの代金を次の口座に振り込んで下さい。

ゆうちょ銀行当座（旧郵便局振替口座）

番号 00130-4-661033

名義 I T A

3) 全日本F T大会当日に提出(担当・吉川 真)

選手集合時(下記参照)に、受付と計量を終え、担当者に下記を記した封筒を渡して下さい。

- ①氏名
- ②受け取り枚数
- ③販売数と金額(大人2500*枚数、子供1000*枚数)
- ④振込みを証明する明細書
(コピー可。ゆうちょ銀行ATMによる振り込みの場合、発行される「ご利用明細票」。
各種インターネットバンキングによる振り込みの場合、プリントアウトしたもの)
- ⑤返品チケットの現物(大人何枚返品と明記)

なお、受け取ったチケットを紛失した場合、申し訳ございませんがすべて買い取りとなります。

4) 関東圏選手のチケット返品

2014年11月22日(土)の組手総見および全日本F T大会実行委員会会議時のみは、持参(担当・河田スマレ)を受け付けます。

しかし、チケット代金は上記の口座へ振り込んでください。

下記事項を明記した封筒に入れて下さい。

- ①氏名
- ②受け取り枚数
- ③販売数と金額(大人2500*枚数、子供1000*枚数)
- ④代金・現金
- ⑤返品チケットの現物(大人何枚返品と明記)

かならず枚数を担当者の前でとりだし、双方で確認した後、返品して下さい。

なお、受け取ったチケットを紛失した場合、申し訳ございませんがすべて買い取りとなります。

二、選手集合(計量)時間

1, 選手集合時間 午後2時00分
(時間厳守。遅刻者は理由を問わず失格とします)

2, 集合場所(J T A総会場所)

アジア青少年センター・9階 国際会議室

東京都千代田区猿楽町2-5-5 03-3233-0611

選抜選手の出欠、組手出場選手の計量等を行います。駐車場はありません。

なお、少年少女部演武出演者は、午後3時45分に後楽園ホールに集合。

ただし、保護者の方は午後5時まで入場できません。

三、選手が持参するもの

1、自己のJ T A黒帯道衣

全日本F T大会選抜選手は、自己のJ T A黒帯道衣を着用しなければなりません

ただし、高校生および中学生以下の少年少女部選抜選手は、色帯道衣での参加を認めます。

例外 2回戦以降に使用するため、自己の所有する道衣の他に、他のJ T A会員から黒帯道衣の貸与を受けても構いません。

2、自己の黒帯

1) 全日本F T大会は有段者の大会です。黒帯を着用しなければなりません。

ただし、10～11月に昇段して間もない選抜選手の黒帯は、全日本大会迄、間に合いません。
該当者は、所属クラブの指導者・先輩等から黒帯を借りてください。

2) イサミ等の帯留めは禁止

写真撮影上、膨らみすぎて見栄えが悪いため。

代替処置として各自が黒いテープを用意し、黒帯の結び目を固定してください。

なお、100円ショップ等で販売している安物は根着方に問題がありますので避けましょう。

3、自己所有の青または赤の手足防具

青または赤の自己所有の防具を持参し、青または赤の防具を他者から借りて準備してください。

J T Aでは、青や赤以外の防具の使用を認めていません。

青または赤の自己が所有する防具のない選手の全日本F T大会参加は認めません。

両色とも他者から貸与を受け全日本F T大会に参加したことが後日発覚した場合、試合成績はすべて無効となります。

4、自己所有の胴防具

J T Aオリジナルの胴防具（青・赤のリバーシブル）に限ります。

自己の胴防具を所有し、貸与届け出を提出している地方クラブ選手のみJ T A本部が準備します。

5、マウスピース

組手選手は、安全上、マウスピースを着用してください。

マウスピースの色は透明に限ります。それ以外の色は認めません。

6、組手選手男子フェールカップ

付け忘れは失格です。黒帯道衣の中に着用して下さい。外に着用していた場合は失格です。

7、組手選手の白い軍手と爪の事前処理

拳の握りが甘いと顔面突きの際、指（とくに親指）が相手選手の目に突き刺さることがあります。

最悪の場合、相手選手が失明します。

よって白い軍手（古くて変色した軍手は禁止）を着用した後、手の防具を着用して下さい。

なお、2回戦以降に使用するため軍手を複数用意することを勧めます。

同様の理由により指の爪は、男女を問わず必ず短く切っておくように。

8、スネサポーターの着用は任意

1) 色は白に限ります。それ以外の着用は失格となります。

2) スネサポーター、肘サポーター等を使用する場合、下記の計量時に司会者に届け出て下さい。
上記のサポーターを使用する場合、蹴りがその分重くなりますので、選手の体重に加重し、
体重判定の際の勝敗基準とします。

9、飲料水

リング上はライトにより観客席よりも温度が高く、運動量及び緊張等で水分が必要となります。

セコンドは、選手の試合前、試合後、延長戦前の休憩時に安全上、必ず水分を補給させて下さい。

なお、軽食は各自が用意して下さい。

10、セコンドのチケット

選手本人は必要ありませんが、セコンドは必要です。

セコンドは開場するまで後楽園ホールに入場することはできません。

セコンドがチケットを忘れた場合、再度、後楽園ホールで購入して下さい。

例外は一切認めません。 なお、当日券は3000円です。

上記に違反した場合、すべて失格または試合成績無効、あるいは減点とします。

四、組手選抜選手の各種防具の色

組手防具は主催者側は準備しません。所属クラブ等で用意して下さい。

選手呼び出し時点で準備できていない場合、失格となります。

パンフレットで対戦表を確認後、3試合前迄、「リング通路」と「コート通路」に待機して下さい。

リング責任者・津田道、コート責任者・鈴木雅弘に

自分の氏名（選手名）を告げ 待機準備していることを伝えてください。

各責任者からリング司会またはコート司会へのスタンバイ通知が滞ると試合進行に支障が生じます

司会から最初に呼び出しを受ける選手が青コーナーとなり、青い防具を着用しなければなりません。

(セコンドは対戦表で自選手が2回戦以降の対戦相手より上段に表記されているかを確認して下さい。
上段にあれば青です)

1、男子組手1～3回戦の防具の色

1～2回戦で青の防具が必要な男子選手

(1) リング側

青の防具（着用）・青コーナー < >内は1回戦勝利した場合の2回戦防具の色

小山恭弘<青>、大高雄次<赤>、趙 哲菜 <青>、高橋英樹 <赤>

(2) コート側 青の防具（着用）・青コーナー

山地 和<青>、梅北徳彦<青>、楊 龍 <青>、石川敏輝<青>

(3) 男子組手シード選手の2回戦防具の色 < >内は2回戦勝利した場合の3回戦防具の色

青防具 → 渡邊智也<青>、高橋佑輔<青>

赤防具 → 高田憲利<赤>、倉田剛志<赤>、西本暢暁<赤>、西岡 健<赤>

(4) その他 上記以外の選手は、1回戦は、赤の防具を準備してください。

2, 女子組手 1 ~ 2 回戦の防具の色

1 回戦で青防具 + 青ヘッドギアが必要な女子選手

< >内は勝利した場合の防具色

(1) コート側 青の防具 (着用)・青コーナー

高 伶香<青>、大久保綾希子<赤>、前根奏子<青>、角田知美<赤>

上記以外の女子選手は、1回戦は、赤の防具を準備してください。

(2) 女子組手シード選手の2回戦防具の色 < >内は2回戦勝利した場合の3回戦防具の色

市坪 愛<青>

3, 壮年組手 1 回戦の防具の色

1 回戦で青防具 + 青ヘッドギアが必要な壮年選手

< >内は勝利した場合の防具色

太田康昭<青>、宮城良太<赤>

上記以外の壮年選手は、1回戦は、赤の防具を準備してください。

4, 中学生男子組手 1 回戦の防具の色

(1) 1回戦で青防具 + 青ヘッドギアが必要な中学生男子選手 < >内は勝利した場合の防具色

鶴橋風汰<赤>、井藤優貴<青>

上記以外の中学生男子選手は、1回戦は、赤の防具を準備してください。

(2) 中学生男子組手シード選手2回戦防具の色 < >内は2回戦勝利した場合の3回戦防具の色

野原颯太<青>、伊藤岳陽<赤>

5、中学生女子組手の防具の色

(1) 青防具+青ヘッドギア+青胴防具が必要な中学生女子選手

福島良菜

上記以外の中学生女子選手は、赤の防具+赤ヘッドギア+赤胴防具を準備してください。

6、小学生男子組手の防具の色

青防具+青ヘッドギア+青胴防具が必要な小学生男子選手

二川海斗

上記以外の小学生男子選手は、赤の防具+赤ヘッドギア+赤胴防具を準備してください。

五、蹴武の型（個人戦）選抜選手の鉢巻

型の選手に対し、青または赤の鉢巻を黒帯の後方にかけるようにします。

J T A本部が用意しますが、選手各自も可能な限り用意して下さい。

司会から最初に呼び出しを受ける選手が青コーナーとなり、青い鉢巻をかけなければなりません。

(セコンドは対戦表で自選手が2回戦以降の対戦相手より上段に表記されているかを確認して下さい。
上段にあれば青の鉢巻です)

試合終了後、青の鉢巻又は赤の鉢巻を取り外し、待機中の選手の黒帯の後方にかけてあげて下さい。

1) 一般

①1回戦 青の鉢巻着用選手 → 金川 櫻、藤田実希、櫻庭里彩子、藤原慎介、近藤弘明、
稲垣 健、河野昌俊、大貫康生、米田勝則

2) シード選手3名(2回戦) 青の鉢巻着用選手 → 金山咲恵、植田博和、西谷信一郎

上記以外の選手は、1回戦は、赤の鉢巻を着用してください。

2) 少年少女部

①1回戦 青の鉢巻着用選手 → 井藤大貴、森 慎治

2) シード選手2名(2回戦) 青の鉢巻着用選手 → 野原颯太
赤の鉢巻着用選手 → 福島良菜

上記以外の選手は、1回戦は、赤の鉢巻を着用してください。

六、集合時の手順

1、午後2時に、アジア青少年センター・9階国際会議室において出欠確認をします。

2、組手選手は、私服のまま体重計にのり、申告体重との増減を確認します。
スネサポーター、肘サポーター等を使用する場合、
計量時にメモ書き(様式随意。氏名とサポーター種類を記したもの)等を提出してください。

3、チケット代金明細封筒提出(上記一参照。販売金はすべて振り込みです)

4、選抜選手パンフレット1部受け取り(無料)

注意 パンフレットのコピーは固く禁止します。
携帯電話やデジカメによる撮影も禁止します。

上記のとおりJTAは自主財源で全日本FT大会の運営費を賄っています。

広く薄く会員の皆様から集めたものを使用しています。

パンフレット代金も自主財源の一つであり、来年以降も持続的に運営するために協力して下さい。

5、アジア青少年センター・9階国際会議室選手において道衣等に替えることも可能です。

七、後楽園ホール入館時

1、設営時に入館できるのは、選抜選手、実行委員・役員、演武者です。

セコンドおよび少年少女部の保護者は入館できません。

後楽園ホール担当者の管理のもとチケットで入館して下さい。

- 2, 各自が選手控え室で道衣等に替えて下さい。
 - 1) 女子・少女部は、チャンピオンルーム奥の部屋を使用して下さい。
 - 2) 少年部小学生（演武者含む）は、チャンピオンルームを使用して下さい。
 - 3) 男子・壮年部・高校生・中学生は、上記以外の選手ルームを使用して下さい。

注意 大会専門の窃盗団がいる可能性もあります（15年前のITF時代に盗難有り）。
貴重品は絶対置かないようにして下さい。

万一、盗難にあってもJTAおよび関係者、東京ドーム・後楽園ホールは責任を負いません。

- 3, リハーサルまで各自がウォーミングアップをして下さい。
荷物運搬や設営等を手伝う必要はありません。試合に集中して下さい。
- 4, 組手試合のリング・ロープ調整完了次第、リングにのぼって練習しても結構です。
型試合のコートで型の練習をしても結構です。
- 5, セCOND
私服は一切禁止します。セCONDとしてふさわしい服装を心がけて下さい。
OB・OG、休会者は、セCONDにふさわしくありません。禁止します。

七、その他注意

- 1, 開会式・試合・閉会式等、道衣の中にシャツ等を着ることを禁止します。
ただし、女子選手は白のシャツに限り着用を認めます。
- 2, 開会式・閉会式リング上での私語は控えて下さい。終始沈黙・起立。
- 3, 通路でのミット蹴り等は、禁止します。
選手控え室からリング上にのぼる際の地下階段のスペースのみ許可します。
- 4, ウォーミングアップの際、通行者（とくに子供）に注意して下さい。
死亡事故につながります。
- 5, 貴重品はロッカーにおかないようにし、セCOND等に預けて下さい。
盗難にあっても主催者側は一切関知しません。
- 6, 敗戦後、選手控え室等でOB等と世間話などせず、試合を観戦・応援するようにして下さい。
自分の試合を観戦・応援してもらっているのであれば、自分が負けた後であっても、
他の選手の試合を観戦するのがスジであり、それがJTA七大精神の礼儀礼節です。
- 7, 通路側での私語を禁じます。声が響き会場全体に広がるからです。
大会スタッフから注意を受けた者は、その場で退場させます。試合は棄権となります。
とくにベテラン選手は気を付けて下さい。

8、コンタクトの使用制限

格闘技は視力が弱くても競技が可能です。

また、コンタクトを使用しての格闘技は、目に負担がかかり危険です。

普段の練習時にコンタクトをはずし、馴れておくことが大切です。

審判は、コンタクトの着用の是非は確認しませんが、

仮に、コンタクトを落としたり、ずれたりしても、試合は中断しません。弁償もしません。

当該動作をした時点で主審は失格を宣言します。

注意 柔道や剣道の全日本大会でそのような光景は殆どあり得ません。

後樂園ホールリング上でそのような行為を行い失笑を買わないように注意しましょう。

9、道衣の中にタイツ等を着用することは禁止します。

本大会は、蹴りを主体とする格闘技の試合です。

写真撮影上、道衣の中のタイツ等は、組手および型の蹴りの動作時に写ってしまい見栄えが悪く、また美しくありません。

ただし、膝までの長さのタイツ等は写りにくいので着用を認めます。